

## 二級河川鴨川河川改修事業における不適切工事 調査結果

### 1 概要

#### (1) 対象工事

工 事 名： 鴨川河川改修放水路工工事（魚津市新金屋 地内）

工 期： 令和3年1月26日～令和3年11月30日

工事概要： 放水路工（ボックスカルバート） L=88.3m

発注者（施行機関）： 富山県（新川土木センター）

受注者： 朝野工業株式会社

#### (2) 内容

受注者は、当該工事におけるボックスカルバート（分割型）の上下連結用PC鋼棒（上側）の規格について、設計ではC種（径21mm）とされているところ、強度が低いB種（径21mm）のもので施工されたことについて、発注者への報告義務を怠り、契約内容と異なる構造物を発注者に引き渡した。

### 2 不適切工事の背景・発生原因

- ・ボックスカルバートを製造したコンクリート製品メーカーは、発注ミスにより、設計とは異なるPC鋼棒を受注者に誤納入した。
- ・受注者の担当は、現場が全て施工済みであったことや、同製品メーカーからの「構造上に特段の問題はない。」との報告等を理由に、PC鋼棒の規格誤りを知りつつ、社内や発注者に報告をしなかった。
- ・受注者の担当は、同製品メーカーに対し、発注者が定めたC種のPC鋼棒の検査証明書を求めたため、これを受けた同製品メーカーの担当は、独断で検査証明書をC種に書き換えて、受注者の担当に提出した。
- ・受注者の担当は、同製品メーカーの担当から受領した書き換えられた検査証明書のコピーを発注者に提出した。

### 3 不適切工事箇所の安全性の評価、補修工事の実施

- ・当該ボックスカルバートは、現状では、直ちに危険な状況になることはないが、長期的な安全性を担保するため、当該受注者に対して、設計の強度に適合させるための補修工事を命じた。
- ・当該受注者は、当該箇所の補修工事を3月16日に完了した。

## 4 再発防止策

### (1) 富山県

- ・上下分割型ボックスカルバート工事では、上部材、下部材の両方とも工場検査の対象とするとともに、上下連結用 PC 鋼棒は、施工前に発注者の確認を受けた上で使用する資材に位置づける。
- ・また、コンクリート製品メーカーに対し、PC 鋼棒の規格を目視により判別できるような取組みを求める。(例：PC 鋼棒の端部を種別に色分け着色など)

### (2) 朝野工業株式会社

#### ①ガバナンス体制の強化

- ・納品時に検査証明書の請求・受領を確実にいき、社内の立ち会いのもと必要な調査・検品を実施する。また、現場巡回頻度を増やし、社内検査項目以外の問題点も確認し記録に残す。
- ・会社全体として、部門会議内で各現場の問題点や課題について報告する場を設け、些細な事でも共有する。

#### ②心理的安全性の担保（職員が安心して働くことのできる職場環境づくり）

- ・現場巡回以外でも社内で月 1 回の定期面談を実施し、コミュニケーションの向上を図る。また、社外相談窓口を設置して社内では話しづらい内容も相談できる体制を構築する。
- ・管理職員の研修を行い、心理的安全性の担保について知見を深めてもらい、部下との関係性の向上を促進する。